

活動報告

2010 年度

●総会

2010 年 11 月 20 日 (土) 日仏会館 501 号会議室

●シンポジウム・講演会 2010 年 11 月 20 日

テーマ：「17 世紀演劇研究の現在」

講演者：伊藤洋

会 場：日仏会館 501 会議室

●刊行物ほか 会報「復刊2号」(2010 年 11 月)

「コレクション 現代フランス語圏演劇」

- 05 M.アザマ『十字軍／夜の動物園』
- 13 W.ムアウッド『沿岸 頼むから静かに死んでくれ』
- 02 M.ヴィナヴェール
『いつもの食事／2011 年 9 月 11 日』
- 12 O.ピィ『お芝居／若き俳優たちへの書翰』
- 14 D.レスコ『破産した男／自分みがき』

2011 年度

●総会

2011 年 7 月 31 日 (土) 日仏会館 501 号会議室

●シンポジウム・講演会 2011 年 7 月 31 日

テーマ：「17 世紀演劇の多様性」

発表者：伊藤洋・オディール・デュスッド・戸口民也

野池恵子・鈴木美穂・富田高嗣・千川哲生

会場：日仏会館 501 会議室

●刊行物ほか

「コレクション 現代フランス語圏演劇」

- 04 P.ミンヤナ／N.ルノード『亡者の家／プロムナード』
- 10. J.ボムラ『時の商人／うちの子は』
- 09. K.クワユレ『ザット・オールド・ブラック・マジック／ブルー・ス・キャット』
- 16. E.ダルレ『隠れ家／火曜日はスーパーへ』
- 08. J=L.ラガルス
『まさに世界の終り／忘却の前の最後の後悔』
- 03. E.シクスー『偽証の都市、あるいは復讐の女神たちの甦り』

編集後記

会報をお届けする。ようやく三号だが、少しずつ「復刊」の機軸、新しい陣容が整いはじめているのは慶賀の至り。さて、今夏も暑かったというと、去年と同じ台詞で芸がないが、小生にとってはきつい夏であった。若干個人的な事情になるけど、小生、昨年三月無事に職場を終えた。前回書いたような時間があり余るほどできるとの予測は幻、案に反し、どうも在職中より過密だ。赴く劇場はけたたましいほど多、それに、わが書斎には読み残し書が溜りに溜まり(あるんだなあ、これが!!)、まだ本屋を覗いたりしている。まあそれらにとり組んで残る歳月を静かにと念じていたら、高橋信良さんと一緒にやった「コレクション 現代フランス語圏演劇」エレヌ・シクスー巻のわが担当「解題」でとんでもない間違いをやらかしたのに気づき、酷暑が倍加した。この場をお借りして、是非にも訂正しておかねばならない。「解題」に「ルーマニア出のクリステヴァと並び」とある節は「ブルガリア出のクリステヴァと並び」の誤謬である。そう直して頂きたい。読者たちにも協会にも編集委員会にも高橋さんにも謹んでお詫び申し上げます。体調も不良だし、やはり齢は争えぬと慨嘆、爾後も事務局長なる重責を負えるかどうか、担うとすれば、相当心しなくてはならぬ。以上、自戒と反省と展望。会報にしても実行委員会の奮闘の賜物で、小生は人畜無害。わが悩みはそこ。とまれ、ご斟酌を。

(佐伯隆幸)

フランス語圏演劇に関する催しの情報をお寄せください

当会 HP (<http://www.sfjt.jp.org>) では、日本でのフランス語圏の舞台芸術に関する各種催しに関する情報を掲載しています。フランス語圏からの来日公演、フランス語で書かれた作品の翻訳・翻案による公演のほか、フランス語圏演劇に関する講演や研究会など、日仏演劇協会以外の団体・個人が主催する催しが対象です。メーリングリストによる配信も行っています。ML 配信・HP 掲載を希望される方は、(1) 件名を「関連イベント掲載依頼」として、(2) メール配信用に、そのまま配信できる文面(テキスト形式)を事務局(office@sfjt.sakura.ne.jp)までお送りください。その際、必ず問合せ先を明記してください。いただいた情報は、基本的に HP の「関連情報」ページに掲載をいたします。講演名/公演名等、日時、会場、URL 等の情報のほか、添付ファイル等へのリンクも可能です。